



2019年3月20日

JR東日本長野支社

## 小海線 野辺山駅のエコステモデル駅整備について

JR東日本では、省エネルギーや再生可能エネルギーなど、様々な環境保全技術（エコメニュー）を導入する取組み（エコステ）を実施しています。この度、長野支社ではJR線で最も標高が高い駅である小海線の野辺山駅を長野支社初のエコステモデル駅として整備いたします。

また、野辺山駅周辺は年間気温の寒暖差（年較差）が大きいという気象条件に対し、JR東日本として初めてとなる「ZEH化」の考え方を導入し、駅待合室の断熱、省エネ、創エネの流れで省エネルギー化を行います。エコステ整備により、野辺山駅における2021年度のCO<sub>2</sub>排出量の削減量は約3t（2016年度排出量の約47%）を見込んでいます。

※「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」とは…

外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに高効率な設備システムを導入し、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で再生可能エネルギーを導入することで、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅のこと。

### 1 工事期間

2019年4月から工事に着手し、2020年1月の使用開始を予定しております。

### 2 野辺山駅の概要

(1) 住 所 長野県南佐久郡南牧村大字野辺山

(2) 駅の開業日 1935年11月29日（現駅舎の完成は1983年3月）



### 3 今回導入を進めるエコメニュー

別紙をご参照ください

【別紙】

＜導入を進めるエコメニュー＞

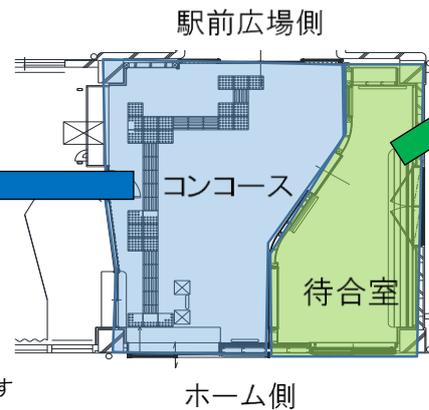
① 駅本屋		② ホーム待合室	
【省エネ】	待合室の断熱化	【省エネ】	待合室の断熱化
	潜熱蓄熱塗壁材		集熱換気装置
	木サッシ		木サッシ
	LED 照明		LED 照明
【エコ実感】	温度差発電体感ウォール	【エコ実感】	エコ表示モニター
【環境調和】	県産木材（カラマツ）利用	【環境調和】	県産木材（カラマツ）利用
③ 旅客上家【創エネ】		太陽光発電設備	

① 駅本屋内観イメージ

【コンコース内観】



● 県産木材(カラマツ)で四方の山並みを表現します



【待合室内観】

● 潜熱蓄熱塗壁材

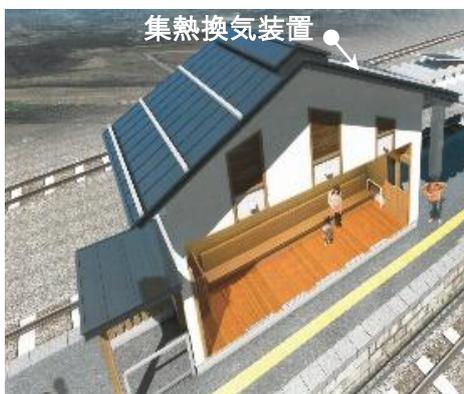
壁面より放出される熱で室内を暖めます



● 温度差発電体感ウォール

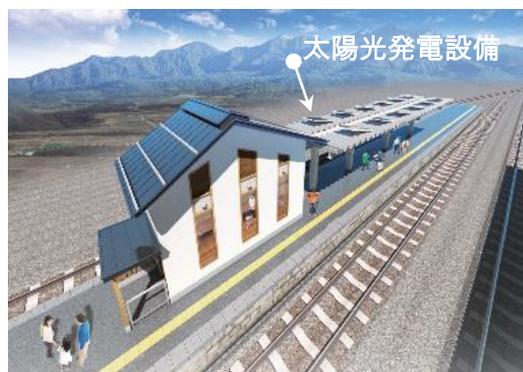
人の手をあてると壁面に埋込まれた星をイメージした万華鏡の電球が点灯します

② ホーム待合室内観イメージ



屋根材裏面に空気取り込口を設けて、空気と屋根材の間に熱交換することで室内を暖めたり冷やしたりします

③ 旅客上家イメージ



旅客上家にクリーンエネルギーである太陽光発電設備を設置し、発電した電気を旅客流動部、駅事務室、待合室で利用します